

15. 下 水 道 3-10

佐賀市の公共下水道は、昭和47年に、旧佐賀市市街化区域を全体計画区域として策定し、事業に着手した。その後随時、下水道区域の拡大を重ね、更に平成17年10月1日の1市3町1村の合併を経て、現在では、旧富士町の特定環境保全公共下水道を合わせて全体計画面積3,987ha、全体計画人口194,750人となった。

昭和53年11月に供用開始して、その後事業の進捗に努め、順次供用開始区域を拡大している。旧富士町においては、平成14年4月1日に特定環境保全公共下水道として供用開始している。また、市町村合併に先立ち、処理場の共同化を進め、旧諸富町、旧大和町については、それぞれ平成17年3月31日、平成17年4月1日に供用開始している。

平成18年度末の佐賀市の下水道整備状況は、整備面積2,601ha、普及世帯50,863世帯、人口普及率は65.04%となっている。

(1) 全体計画・事業認可計画

◎汚 水

旧佐賀市

処 理 分 区	全 体 計 画		事 業 認 可 区 域	
	処 理 面 積	処 理 人 口	処 理 面 積	処 理 人 口
八田処理分区	725ha	36,400人	723ha	36,300人
厘外処理分区	1,188ha	64,300人	1,182ha	64,100人
大島処理分区	428ha	21,500人	428ha	21,500人
下高木処理分区	427ha	21,600人	426ha	21,500人
兵庫処理分区	248ha	11,200人	248ha	11,200人
久保泉処理分区	56ha	－人	56ha	－人
計	3,072ha	155,000人	3,063ha	154,600人

旧諸富町

処 理 分 区	全 体 計 画		事 業 認 可 区 域	
	処 理 面 積	処 理 人 口	処 理 面 積	処 理 人 口
諸富処理分区	263ha	11,030人	209ha	8,570人
大中島処理分区	39ha	870人	31ha	430人
計	302ha	11,900人	240ha	9,000人

旧大和町

処 理 分 区	全 体 計 画		事 業 認 可 区 域	
	処 理 面 積	処 理 人 口	処 理 面 積	処 理 人 口
春日地区	337ha	18,500人	277ha	13,300人
川上地区	196ha	7,000人	－ha	－人
計	533ha	25,500人	277ha	13,300人

旧富士町

処 理 区 名	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口(人)	備考
富 士 南 部	81ha	660戸	2,350人	
計	81ha	660戸	2,350人	

◎雨 水

旧佐賀市

処 理 分 区	排 水 面 積		
	全体計画	事業認可	放 流
八田江排水区	515ha	387ha	八田江川
佐賀江排水区	1,371ha	1,249ha	佐賀江川
新川排水区	143ha	112ha	新 川
上碓排水区	263ha	159ha	上 碓 川
本庄江排水区	620ha	559ha	本 庄 江
久保泉排水区	56ha	56ha	焼 原 川
中原排水区	82ha	-ha	嘉 瀬 川
新町排水区	22ha	-ha	本 庄 江
計	3,072ha	2,522ha	

旧大和町

処 理 分 区	排 水 面 積		
	全体計画	事業認可	放 流
春日排水区	337ha	98ha	黒 川
川上排水区	196ha	-ha	嘉 瀬 川
計	533ha	98ha	

旧諸富町

処 理 分 区	排 水 面 積		
	全体計画	事業認可	放 流
早津江川排水区 (第1～第4)	5.7ha	5.7ha	野 町 川
山領排水区 (第1～第4)	26.5ha	26.5ha	新 川
小杭川排水区	17.4ha	17.4ha	小 杭 川
諸富中央排水区	78.9ha	77.9ha	筑 後 川
大堂排水区 (第1～第5)	17.3ha	2.1ha	新 川
勘の島川排水区 (第1～第6)	12.8ha	-ha	筑 後 川
橋津排水区 (第1～第3)	4.4ha	-ha	城 原 川
大渡川排水区 (第1～第5)	9.4ha	-ha	大 渡 川
寺井排水区 (第1～第3)	17.4ha	17.4ha	新 川
新川排水区 (第1～第3)	12.4ha	12.4ha	新 川
大五川排水区 (第1～第14)	49.3ha	49.3ha	大 五 川
大中島排水区 (第1～第3)	31.3ha	31.3ha	筑 後 川
中の島川排水区 (第1～第8)	7.7ha	-ha	筑 後 川
三重排水区 (第1～第4)	8.7ha	-ha	三 重 川
福田排水区 (第1～第3)	2.8ha	-ha	早 津 江 川
計	302ha	240ha	

(2) 普及状況

(H19. 3.31現在)

供用開始面積 (ha)	八田処理分区	514.06		
	厘外処理分区	905.29		
	大島処理分区	405.88		
	兵庫処理分区	97.76		
	久保泉処理分区	56.00		
	下高木処理分区	367.71		
	諸富処理分区	109.53		
	大和处理分区	71.97		
合計		2,528.20	→	全体計画比 (%) 64.71%
				認可計画比 (%) 70.62%
普及人口	(人)	132,948		
人口普及率	(%)	65.04	→	普及人口 行政区域人口
普及世帯	(戸)	50,863		
世帯普及率	(%)	63.98	→	普及世帯 行政区域世帯
水洗化人口	(人)	123,117		
水洗化世帯	(戸)	44,021		

16年度以前は旧佐賀市17年度は合併前市町「上期」と新市の合算値

(3) 下水浄化センター

敷地面積	90,221.02m ² (市有地86,372.35m ²)
建設年度	1期工事 昭和49年12月～昭和53年8月
建設事業費	6,169,000千円
運転開始	昭和53年11月26日
計画汚水処理能力	97,700m ³ /日
現在汚水処理能力	55,167m ³ /日
処理方式	標準活性汚泥法(4池)・担体投入標準活性汚泥法(3池)
計画汚泥発生量	脱水ケーキ量 84m ³ /日

主な設備

沈砂池設備	自動除塵機（2基）
ポンプ設備	汚水ポンプ4台（600φ×42m ³ /分×200KW（2台） 400φ×20m ³ /分×100KW（2台））
水処理設備	送風機3台（128m ³ /分×210KW（2台） 128m ³ /分×190KW（1台）） 最初沈殿池（3池）・エアレーション池（7池） 最終沈殿池（7池）
汚泥処理設備	重力濃縮設備（1基）・常圧浮上式機械濃縮設備（2基） 消化タンク（2基）・ボイラ（1基）・ガスタンク（1基） 遠心脱水機（3台）・汚泥焼却設備（1基）・脱硫設備（1基）
非常用発電設備	ディーゼル発電機（1台 3,300V 1,500KVA）

(4) ポンプ場

① 八田ポンプ場

位置 佐賀市南佐賀一丁目15番1号
敷地面積 4,376.34m²
建設年度 昭和49年12月～昭和53年3月
建設事業費 2,152,000千円
運転開始 昭和53年11月26日

主な設備	型式・寸法	台数
沈砂設備	自動除塵機	1
ポンプ設備	汚水ポンプ（350φ 14.2m ³ /分 75KW）	3
非常用発電設備	ディーゼル発電機（3,300V 1,000KVA）	1
脱臭設備	酸・アルカリ洗浄	1
雨水ポンプ設備	電動（1,000φ 2.5m ³ 190KW）	1
	ディーゼル（1,000φ 2.5m ³ 300馬力）	1

② 鍋島汚水ポンプ場

位置 佐賀市鍋島一丁目4番27号
敷地面積 454.09m²
建設年度 昭和57年12月～昭和59年3月
増設年度 平成元年9月～平成2年3月
建設事業費 393,000千円
運転開始 昭和59年4月1日

主な設備	型式・寸法	台数
沈砂設備	自動除塵機	1
ポンプ設備	汚水ポンプ（150φ 1.7m ³ /分 11.0KW）	1
	（150φ 2.7m ³ /分 18.5KW）	2
非常用発電設備	ガスタービン発電機（220V 100KVA）	1
脱臭設備	酸・アルカリ洗浄	1

③ 八戸ポンプ場

位 置 佐賀市新栄西一丁目14番25号
 敷地面積 1,997.08㎡
 建設年度 昭和62年8月～平成元年3月
 増設年度 平成8年4月～平成9年3月
 建設事業費 886,730千円（うち増設29,252千円）
 運転開始 平成元年4月1日

主な設備	型 式・寸 法	台 数
沈 砂 設 備	自動除塵機	2
ポ ン プ 設 備	汚水ポンプ (200φ 4.5m ³ /分 15KW)	3
	(400φ 20m ³ /分 75KW)	2
非常用発電設備	ディーゼル発電機 (6,600V 375KVA)	1
脱 臭 設 備	土壌脱臭	2

④ 久保泉ポンプ場

位 置 佐賀市久保泉町大字上和泉字泉1823番地15
 敷地面積 869.7㎡
 建設年度 平成7年1月～平成8年3月
 建設事業費 417,400千円（うち他事業分 187,700千円）
 運転開始 平成8年4月1日

主な設備	型 式・寸 法	台 数
沈 砂 設 備	—	—
ポ ン プ 設 備	汚水ポンプ (前段 150φ 1.65m ³ /分 11KW)	3
	(後段 150φ 1.65m ³ /分 11KW)	3
非常用発電設備	ディーゼル発電機 (210V 125KVA)	1
脱 臭 設 備	土壌脱臭	1

⑤ 下高木ポンプ場

位 置 佐賀市八丁畷町10番11号
 敷地面積 1383.3㎡
 建設年度 平成13年12月～平成15年6月
 建設事業費 698,695千円
 運転開始 平成15年6月10日

主な設備	型 式・寸 法	台 数
沈 砂 設 備	自動除塵機	1
ポ ン プ 設 備	汚水ポンプ (200φ 4.3m ³ /分 11KW)	2
	(250φ 6.4m ³ /分 22KW)	
非常用発電設備	—	—
脱 臭 設 備	土壌脱臭	1

⑥ 諸富汚水中継ポンプ場

位 置 佐賀市諸富町大字山領282番地 1
敷地面積 1,743㎡
建設年度 平成15年 9 月～平成17年 3 月
建設事業費 478,930千円
運転開始 平成17年 3 月31日

主な設備	型 式・寸 法	台 数
沈 砂 設 備	し渣破砕機	1
ポ ン プ 設 備	汚水ポンプ (150φ 2.1m ³ /分 18.5KW)	2
非常用発電設備	—	—
脱 臭 設 備	土壌脱臭	1

(5) 水洗便所改造資金融資あっ旋状況

① 融資あっ旋制度の概要

○融資あっ旋額

便槽または浄化槽 1 カ所につき60万円を限度

便槽または浄化槽に接続するトイレが2カ所以上ある場合、2カ所目から30万円×トイレ数を上記の60万円に加算する。ただし、1工事あたりの限度は200万円 (H10. 7. 1 改正)

利子補給率 年2.5%

○償 還

5 カ月から最高42月元利均等償還

○利子補給対象額

家屋 1 棟につき60万円を限度 (H10. 7. 1 改正)

② 融資あっ旋及び利子補給状況

区 分		年 度				
		14	15	16	17	18
融 資 あっ 旋	件 数	62	76	70	120	51
	金 額 (千円)	31,400	43,740	42,200	54,091	34,630
利 子 補 給	件 数	105	79	70	75	45
	金 額 (千円)	2,485,302	1,710,794	1,442,243	1,560,766	873,057

16年度以前は旧佐賀市、17年度は合併前市町「上期」と新市の合算値。

(6) 下水道使用料

* 使用料金（次の方法で計算した金額に1.05を乗じたものが下水道使用料となります。）

* 一般家庭平均使用料（2カ月）約40m³、5,439円（消費税込）

(a) 旧佐賀市及び旧諸富町の区域内

（1カ月当たり）

種別	区分	汚水量	昭和61.11 ～平成6.3	平成6.4 ～平成11.11	平成11.12 ～平成16.3	平成16.4～
一般汚水	基本	10m ³ まで	620 ^円	810 ^円	920 ^円	990 ^円
	超過 (1m ³ につき)	10m ³ を超え20m ³ までの部分	90	120	140	160
		20m ³ を超え30m ³ までの部分	100	130	150	170
		30m ³ を超え50m ³ までの部分	110	140	160	180
		50m ³ を超え100m ³ までの部分	130	170	190	210
		100m ³ を超える部分	155	200	230	260
浴場業汚水	—	1m ³ までごとに	10	15	15	20

※旧諸富町は平成16年12月22日施行

(b) 大和町

（2カ月当たり）

区分	一般用		官庁用		学校用（保育園を含む。）	
基本使用料	16m ³ まで	2,000円	40m ³ まで	3,800円	200m ³ まで	16,450円
基本使用料を超える水量（1m ³ につき）	1～34m ³	130円	1～10m ³	130円	201m ³ ～	150円
	35～84m ³	140円	11～60m ³	140円		
	85m ³ ～	150円	61m ³ ～	150円		

(7) 受益者負担金制度

地区別単位負担金額

負担地区	面積	単位負担金額	告示日	負担地区	面積	単位負担金額	告示日
八 田	338ha	168円/m ²	S48. 9. 1	下 田	33ha	535円/m ²	H 8. 12. 24
鍋 島	120ha	371円/m ²	S56. 4. 1	巨 勢	99ha	550円/m ²	H13. 3. 30
平 松	332ha	450円/m ²	S57. 6. 1	八 戸	93ha	550円/m ²	H13. 3. 30
中 央	177ha	465円/m ²	S63. 3. 31	開 成	122ha	550円/m ²	H13. 3. 30
袋	23ha	450円/m ²	H 5. 9. 10	下高木	366ha	550円/m ²	H13. 3. 30
新 栄	129ha	512円/m ²	H 5. 9. 10	春 日 (大和)	275ha	土地の面積が500 m ² までは15万円 とし、500m ² を 超える場合は、 超えた面積1 m ² 当たり 200円を 加算	H14. 12. 24
大 財	90ha	520円/m ²	H 5. 9. 10				
兵 庫	67ha	520円/m ²	H 5. 9. 10				
神 野	208ha	550円/m ²	H 8. 12. 24	諸富第 1	99ha	300円/m ²	H15. 9. 29
北川副	138ha	535円/m ²	H 8. 12. 24	諸富第 2	141ha	300円/m ²	H17. 8. 17

(8) 公共下水道特別会計決算状況

(単位：千円)

区 分		年 度				
		14	15	16	17	18
入	国 庫 支 出 金	1,387,495	1,770,888	1,870,854	2,276,080	2,337,390
	県 支 出 金	0	0	0	0	0
	分担金及び負担金	609,377	762,707	842,027	767,465	653,265
	使用料及び手数料	1,506,364	1,554,367	1,772,563	1,902,268	2,032,713
	繰 入 金	1,845,000	1,741,546	1,680,322	1,783,704	1,215,263
	繰 越 金	129,980	199,490	144,168	263,021	340,386
	諸 収 入	126,982	398,853	129,241	104,829	74,554
	市 債	3,324,900	3,383,300	2,915,700	3,371,200	4,061,500
	財 産 収 入	0	0	0	0	0
	合 計	8,930,098	9,811,151	9,354,877	10,468,567	10,715,071
出	下 水 道 費	6,229,883	7,043,726	6,092,543	7,271,748	7,727,380
	内 下 水道管理費	820,125	876,873	813,905	921,040	956,595
		下 水道建設費	5,409,758	6,166,853	5,278,638	6,350,708
	公 債 費	2,500,725	2,623,257	3,028,273	2,856,433	2,816,733
	前年度繰上充用金	0	0	0	0	0
合 計	8,730,608	9,666,983	9,120,816	10,128,181	10,544,113	
歳入歳出差引額		199,490	144,168	234,061	340,386	170,958
翌年度へ繰越すべき財源		143,548	113,588	204,060	293,853	150,958
実 質 収 支		55,942	30,580	30,000	46,533	20,000
単 年 度 収 支		18,518	△25,362	△580	△3,169	△26,533

(9) 特定環境保全公共下水道事業

① 基本計画と事業計画

旧富士町における下水道計画は、富士町総合基本計画及び下水道整備構想エリアマップ等を基本とし、平成3年度に基本計画として「下水道整備計画調査」が行われた。又、平成4年度には、実態調査が行われ、近年では、平成15年度に変更認可として認可面積80.9haを整備面積とする。基本計画の概要は、次のとおりである。

処理区名	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	備考
富士南部	80.9	660	2,350	

② 整備状況

年度	汚水布設管路延長(m)			人孔(基)			汚水柵(ヶ所)		
	補助	単独	計	補助	単独	計	補助	単独	計
9	621.0	13.0	634.0	19	1	20	32	1	33
10	1,327.0	0.0	1,327.0	31	0	31	9	0	9
11	3,916.4	0.0	3,916.4	52	0	52	27	0	27
12	3,420.6	0.0	3,420.6	122	0	122	63	0	63
13	2,730.5	0.0	2,730.5	110	0	110	44	0	44
14	3,182.4	402.8	3,585.2	91	21	112	53	21	74
15	3,935.7	314.5	4,250.2	103	22	125	89	26	115
16	4,426.3	360.4	4,786.7	146	30	176	102	30	132
17	3,207.8	370.7	3,578.5	36	27	63	66	14	80
18	1,388.5	23.8	1,412.3	57	4	61	35	10	45
計	28,156.2	1,485.2	29,641.4	767	105	872	520	102	622

16年度以前は旧富士町の値、17年度は合併前市町村「上期」と新市の合算値。

③ 普及状況

項目		年度				
		14	15	16	17	18
富士南部 地区	普及人口(人)	680	1,039	1,171	1,489	1,935
	普及世帯数(戸)	205	288	332	338	534
	水洗便所設置済人口(人)	114	346	475	578	1,074
	水洗化世帯(戸)	48	115	152	187	307
	水洗化率(%)	23.41	39.93	45.78	55.30	57.49

水洗化率 = 普及世帯(戸) / 処理区域内世帯数

16年度以前は旧富士町のデータ、17年度は合併前市町村の合算値。

④ 富士南部環境センター

(a) 施設概要

建設年度	平成12年3月24日～平成14年3月31日		
位置	佐賀市富士町大字梅野1721	敷地面積	10,300㎡
事業費	13億400万円	計画処理人口	2,350人
平均汚水量	1,320㎥/日	処理方式	オキシデーションディッチ法
管路延長	63,317.6m	共用開始	平成14年4月1日
計画水質 (BOD)	流入水質 190mg/l 放流水質 19mg/l	ポンプ施設	26ヶ所 (マンホールポンプ)

(b) 処理状況

区分	年度				
	14	15	16	17	18
最大処理水量 (㎥/日)	78.0	166.7	323.6	332.0	490
平均処理水量 (㎥/日)	126.3	229.0	250.3	412.1	397.0
年間総処理水量 (千㎥)	28.4	60.9	91.3	121.2	149.1
年間有収水量 (千㎥)	28.4	60.9	91.3	121.2	149.1
汚泥量 (㎥/日)			1.8	1.6	2.3
年間汚泥処分量 (㎥)			382.4	566.0	827.0

(c) 処理水状況

(単位：mg/l)

項目	14		15		16		17		18	
	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
BOD		10.4		14.5	93	1.8	200	1.4	150	0.8
S S		3.9		9.1	98	3.2	200	1.4	170	1.3
総窒素				13.4	26	7.0	47	2.0	29	1.4
総リン				1.8	3.2	1.9	5.2	1.1	3.8	1.3
PH		7.9		7.4	7.2	7.3	7.6	7.4	7.3	7.3

⑤ 使用料収入状況

区分		年度					
		14	15	16	17	18	
有収水量 (m ³)		28,466	60,964	91,373	121,275	149,130	
下水道使用料	現年度分	調定額	3,335,535	6,407,467	8,543,310	11,826,020	14,948,850
		収入済額	3,335,535	6,407,467	8,543,310	11,773,100	14,641,620
	滞納繰越分	調定額	0	0	0	0	52,920
		収入済額	0	0	0	0	52,920
	合計	調定額	3,335,535	6,407,467	8,543,310	11,826,020	15,001,770
		収入済額	3,335,535	6,407,467	8,543,310	11,773,100	14,694,540
収入未済額		0	0	0	52,920	307,230	

* 合計収入未済額＝調定額－収入済額－不納欠損額＋還付未済額
16年度以前は旧富士町のデータ、17年度は合併前市町村の合算値。

⑥ 収益収支と資本収支状況

区 分		15 年 度		16 年 度		17 年 度		18 年 度	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
1 収益的収支	(1) 総収益 (B)+(C) (A)	31,043	100.0	39,320	100.0	48,585	100.0	79,052	100.0
	ア 営業収益 (B)	6,407	20.6	8,543	21.7	11,828	24.3	14,695	18.6
	イ 料金収入	6,407	20.6	8,543	21.7	11,773	24.2	14,695	18.6
	ロ 雨水処理費負担金								
	ハ 受託工事収益								
	ニ その他					55	0.1		
	イ 営業外収益 (C)	24,636	79.4	30,777	78.3	36,757	75.7	64,357	81.4
	ロ 国庫補助金								
	ハ 県補助金								
	ニ 他会計繰入金(一般会計)	24,453	78.8	30,623	77.9	26,258	54.1	56,918	72.0
	ヒ その他	183	0.6	154	0.4	10,499	21.6	7,439	9.4
	(2) 総費用 (E)+(F) (D)	31,043	100.0	39,320	100.0	48,585	100.0	60,821	100.0
	ア 営業費用 (E)	13,024	42.0	16,504	42.0	22,284	45.9	31,356	51.6
	イ 職員給与費							9,105	15.0
	ロ 受託工事費								
	ハ その他	13,024	42.0	16,504	42.0	22,284	45.9	22,251	36.6
イ 営業外費用 (F)	18,019	58.0	22,816	58.0	26,301	54.1	29,465	48.4	
ロ 支払利息	18,019	58.0	22,816	58.0	26,301	54.1	29,465	48.4	

区 分		15 年 度		16 年 度		17 年 度		18 年 度	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
	① 地方債利息	18,019	58.0	22,816	58.0	26,301	54.1	29,465	48.4
	② 一時借入金利息								
	(イ) そ の 他								
	(3) 収支差引 (A)-(D) (G)	0		0		0		18,231	
2 資 本 的 収 支	(1) 資 本 的 収 入 (H)	451,962	100.0	509,423	100.0	379,546	100.0	179,817	100.0
	ア 地 方 債	210,500	46.6	235,900	46.3	173,100	45.6	64,100	35.7
	イ 他会計繰入金(一般会計)	42,888	9.5	40,614	8.0	50,392	13.3	44,603	24.8
	ウ 他会計借入金								
	エ 国庫補助金	184,450	40.8	219,050	43.0	151,150	39.8	64,050	35.6
	オ 県補助金(国)								
	カ 工事負担金	3,640	0.8	4,720	0.9	4,900	1.3	7,064	3.9
	キ その他	10,484	2.3	9,139	1.8	4		0	
	(2) 資 本 的 支 出 (I)	452,802	100.0	515,068	100.0	377,377	100.0	197,790	100.0
	ア 建設改良費	423,363	93.5	484,930	94.1	346,825	91.9	148,314	75.0
	イ 地方債償還金 (J)	18,955	4.2	20,999	4.1	30,552	8.1	49,476	25.0
	ウ 他会計長期借入金返還金								
	エ 他会計への繰出金	10,484	2.3	9,139	1.8				
	オ そ の 他								
	(3) 収支差引 (H)-(I) (K)	△840		△5,645		2,169		△17,973	
	3. 収支再差引 (G)+(K) (L)	△840		△5,645		2,169		258	
4. 積 立 金 (M)									
5. 前年度からの繰越金 (N)	7,316		6,476		831		3,000		
6. 前年度繰上充用金 (O)									
7. 形式収支(L)-(M)+(N)-(O) (P)	6,476		831		3,000		3,258		
8. 未 収 入 特 定 財 源							52,900		
9. 翌年度に繰越すべき財源 (Q)	4,150				2,850		2,758		
10. 実 質 収 支 (P)-(Q)	黒 字	2,326		831		150		500	
	赤 字								

16年度以前は合併前市町村の合算値、17年度は合併前市町村「上期」と新市の合算値。

(10) 農業集落排水事業

【事業概要】

農業集落地域から排出される、し尿及び生活雑排水等の汚水を処理する施設の整備を行い、農業用排水の水質保全・農業用排水施設の機能維持及び公共用水域の水質保全を図り、集落の生活環境の改善と魅力ある地域づくりを目指すものである。

【事業内容】

- ① 対象地域 農業振興地域（これと一体的に整備することが望ましい地域を含む）内の農業集落
- ② 受益戸数 20戸以上の集落
- ③ 処理できる汚水 し尿、生活雑排水、農業の作業排水
※有害物質を含む恐れのある工場排水は含めない
- ④ 処理対象人口 おおむね、1,000人以下
- ⑤ 事業主体 佐賀市

【事業実施地区】（記載した年は年度）

- ① 西与賀町元相応地区（H 8 事業採択、H 9 工事着工、H11供用開始）
- ② 蓮池町蓮池地区（H14事業採択、H16工事着工、H19供用開始予定）
- ③ 諸富町北部地区（H 9 事業採択、H10工事着工、H11供用開始）
- ④ 富士町無津呂地区（H 5 事業採択、H 5 工事着工、H 9 供用開始）
- ⑤ 富士町藤瀬地区（H 6 事業採択、H 6 工事着工、H13供用開始）
- ⑥ 富士町杉山地区（H 7 事業採択、H 7 工事着工、H10供用開始）
- ⑦ 富士町合瀬地区（H 7 事業採択、H 7 工事着工、H11供用開始）
- ⑧ 富士町市川地区（H 8 事業採択、H 8 工事着工、H12供用開始）
- ⑨ 富士町鎌原地区（H 9 事業採択、H 9 工事着工、H13供用開始）
- ⑩ 富士町上小副川地区（H10事業採択、H10工事着工、H13供用開始）
- ⑪ 富士町富士北部地区（H14事業採択、H14工事着工、H19一部供用開始）

【今後の事業の推進】

富士北部地区については、平成19年5月に中原地区、7月には栗並地区、大串地区で供用開始した。残りの大野地区についても、ダム建設に伴う道路整備にあわせ下水道の管路整備を進めている。また、蓮池地区については、平成19年度末の供用開始に向け、処理場、並びに管路整備を行っているところである。

新規事業地区については、現在、下水道等の整備推進のマスタープランとなる「佐賀市下水道等エリアマップ基本構想」を見直し中であり、公共下水道や合併処理浄化槽と併せ、汚水を効率的かつ経済的に処理できるよう、エリアを検討しているところである。

(1) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、し尿と生活雑排水をあわせて処理する合併処理浄化槽の計画的な整備を図る目的で、平成4年度から合併処理浄化槽の設置に対する予算範囲内での補助金制度を実施している。

- ① 補助対象地域 佐賀市全域（ただし、佐賀市公共下水道事業認可区域、佐賀市農業集落排水事業採択区域及び、その他市長が定める区域を除く。）
- ② 補助対象施設 専用住宅等に設置した50人槽以下の合併処理浄化槽であって、放流水のBOD20mg/1（日間平均値）以下の機能を有し、「合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針」に適合するもの。

③ 補助金の限度額 （平成18年度：千円）

人槽区分	5人	6人～7人	8人～10人	11人～20人	21人～30人	31人～50人
佐賀市(旧佐賀市)	354	411	519	981	1,668	2,238
佐賀市(諸富)	354	411	519	519	519	519
佐賀市(大和)	354	411	519			
佐賀市(富士)	354	411	519	981	1,668	2,238
佐賀市(三瀬)	454	511	619	100	100	100

④ 事業費等

平成18年度事業費	5人槽……………39基
57,378千円（133基分）	6～7人槽……………86基
国庫補助額 20,248千円	8～10人槽……………3基
県費補助額 18,465千円	11～20人槽……………3基
	21～30人槽……………2基
	31～50人槽……………0基